

# しづや おすすめの本50 2023

せかい し  
世界を知る

ちゅうがくせい  
中学生のみなさんへ

\*・・・2023年にあたらしく入った本

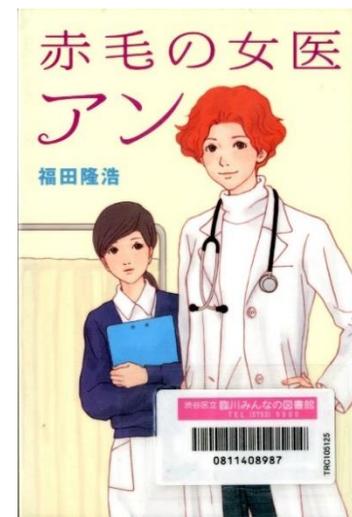
「しづや おすすめの本50」2023は、「世界を知る」をテーマに本をえらびました。

「世界を知る」とは、広い世界の新しいできごとを知ることだけではなく、あなたのまわりにいる人たちの考え方や価値観を知ること、昔から受け継がれてきた習慣や話を知ること、「世界を知る」ことのひとつです。世界は私たちの知らないことでいっぱいです。

あなたの世界を広げてくれる、すてきな本に出会えることを願っています。

あかげ じよい  
赤毛の女医アン

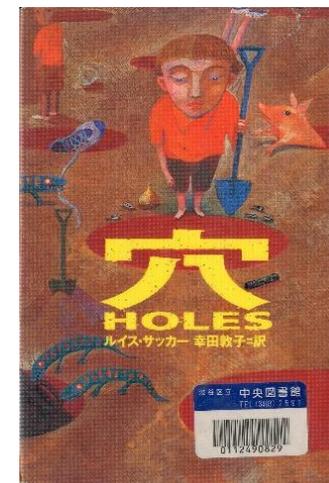
ふくだ たかひろ  
福田 隆浩  
こうだんしゃ  
講談社



都会から緑ゆたかな町の診療所にやってきた女医は、もじゃもじゃの赤毛によれよれジーンズのアン先生だった。突拍子もない行動に町の人たちはあきれて遠まきになっているが、その人柄がわかるにつれ、アン先生は人気者になっていく。

あな  
穴 HOLES

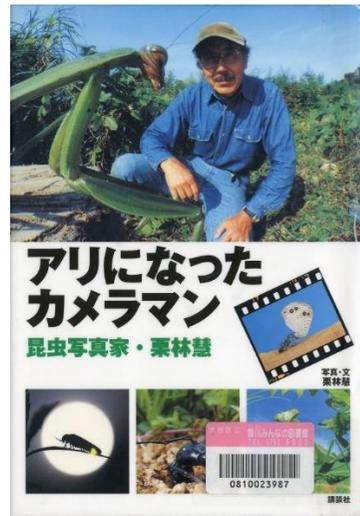
ルイス・サッカー／こうだ あつこ幸田 敦子 訳  
こうだんしゃ  
講談社



スタンリーは無実の罪を着せられて少年院へ連れてこられた。ここでは更正のために、毎日1人1個の穴掘りをさせられる。でも本当に更正のためだろうか？昔々の事件が複雑にからんで、スタンリーの祖先の不運な のろいを解きあかす。

## アリになったカメラマン

昆虫写真家・栗林慧



写真文 栗林慧 / 講談社

昆虫写真家になろうと決意した栗林さん。ところが当時は、小さなものを撮れるカメラがありませんでした。どうにかしてアリと同じ視点で写真が撮れないか。栗林さんはカメラの仕組みを研究し、オリジナルのカメラを作り始めました。

## あん

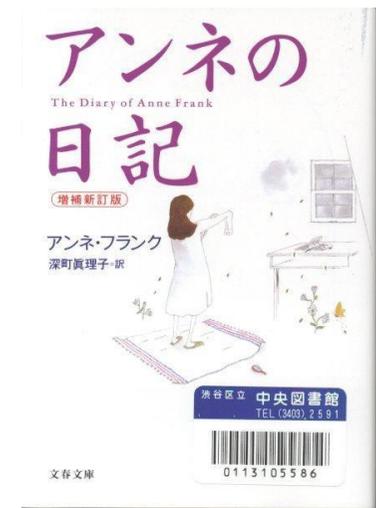
ドリアン助川  
ポプラ社



どら焼き屋の仙太郎の所へ、76歳の徳江がアルバイトで雇ってほしいとやってくる。あん作り名人の徳江のおかげで、どら焼き屋には連日大勢の客がやって来るように。順風満帆にみえた矢先、徳江の秘密が噂になり、徳江は姿を消してしまふ。

## アンネの日記

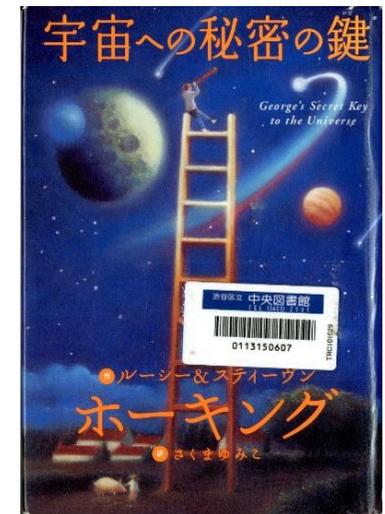
アンネ・フランク / 深町眞理子 訳  
文藝春秋



第二次世界大戦の最中、ユダヤ人の少女アンネ・フランクは、「隠れ家」で過ごした約2年間の日々を日記につづりました。ナチスの追手におびえながらも、将来への希望を失わないアンネの姿がそこにあります。

## 宇宙への秘密の鍵

作 ルーシー&スティーヴン・ホーキング  
訳 さくま ゆみこ / 岩崎書店



始まりはジョージ少年のペット、豚のフレディの失踪だった。フレディを探しに入ったお隣の家で出会ったのは、謎の科学者エリックと娘のアニー。エリックに導かれ、宇宙の秘密を解くために、ジョージの壮大な冒険が始まる。

うてんえんでん  
雨天炎天



へんきょうきこう  
ギリシャ・トルコ 辺境紀行

むらかみ はるき しんちょうしゃ  
村上 春樹 / 新潮社

アトスはギリシャ正教の聖地だ。ここでは約2千人の僧が、厳しい修行をしながら質素な生活を送っている。そして、アトスには男しかいない。人間も動物も。1988年にギリシャとトルコの辺境を巡った村上春樹さんの旅行記。

\* 「オードリー・タン」の誕生

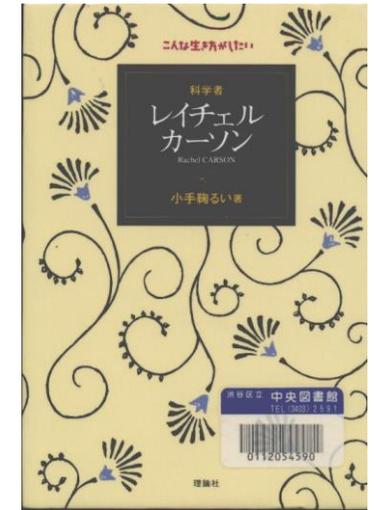


たんじょう  
だれも取り残さない台湾の天才IT相

いしざき ひろし こうだんしゃ  
石崎 洋司 / 講談社

ギフテッド、ITの天才、トランスジェンダーなど様々な分野で世界的に有名なオードリー・タン。幼いころいろいろな意味で弱者だったオードリーが、どのようにして、自由な発想を持つに至ったのでしょうか？

かがくしゃ  
科学者 レイチェル・カーソン



こでまり  
小手鞠 るい 著  
りろんしゃ  
理論社

環境問題という意識もなかった時代に「このままでは地球は汚染され、春が来ても鳥は鳴かず、世界は沈黙に包まれてしまう」と訴え、『沈黙の春』を著した科学者レイチェル・カーソン。彼女はどんな生涯を送ったのでしょうか。

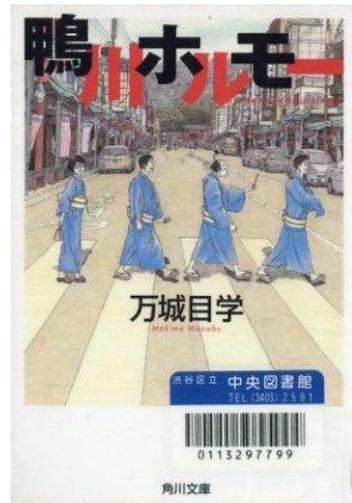
かむさり にちじょう  
神去なあなあ日常



みうら  
三浦 しをん  
とくましよてん  
徳間書店

高校を出たら、適当にフリーターで食っていこうと思っていた。何十年も先の将来なんて全然ピンとこないし、やりたいことなんかない。そんな俺が、担任に「就職先を決めてきてやったぞ」と言われ、向かったのは三重県の山奥にある村だった。

かもがわ  
鴨川ホルモー



まきめ まなぶ  
万城目 学  
かどかわしよてん  
角川書店

京都大学に入学した安倍は、京大青龍会というサークルの勧誘を受ける。何のサークルなのか？怪しいと思いながらも、なぜかそのサークルに入った安倍は、ホルモーという謎の競技をすることに。バカバカしくて笑ってしまう、歴史も絡めた青春小説！

と おし ねこ  
カモメに飛ぶことを教えた猫



ルイス・セプルベダ／河野 万里子 訳  
はくすいしや  
白水社

原油が海に流れ出し、その犠牲になったカモメ。彼女は死の間際に産み落とした卵を、黒猫のゾルバに託します。3つの約束とともに。卵は食べないこと。ひなが生まれるまで卵のめんどろを見ること。そして、ひなに飛ぶことを教えてやること。

いち つく  
カレーライスを一から作る

せきのよしはる  
関野吉晴ゼミ

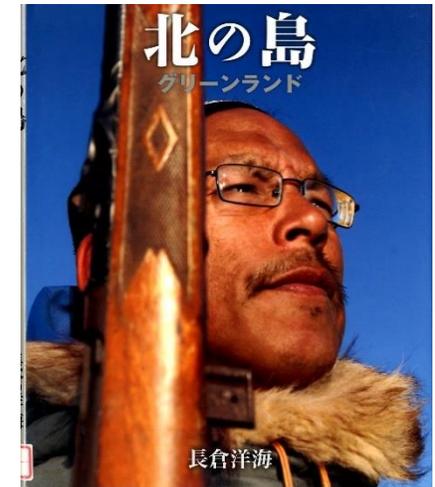


著 まえだ あき / ポプラ社

カレーライスを作る時、私たちは材料をお店で買ってくる。でもそれを全部自分たちで作ったら、いったいどのくらいの時間と手間がかかるのだろう？野菜にお肉、香辛料、器やスプーンも！9か月かけてカレーライスを作った大学の授業の様子です。

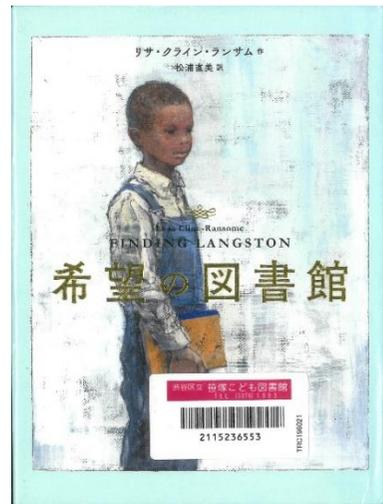
きた しま  
北の島 グリーンランド

ながくら ひろみ  
長倉 洋海  
かいせいしや  
偕成社



雪と氷におおわれた北極圏の島、グリーンランド。イヌイットの人々は伝統的に犬ぞりを使って狩猟をしてきました。しかし、年々氷が溶けていることが狩りに影響をおよぼしているようです。この本は自然とともに生きる人々の写真集です。

\* 希望の図書館



リサ・クライン・ランサム 作  
まつうら なおみ 訳/ポプラ社

1946年のアメリカ。母を失い、父とシカゴに越してきた主人公は、新しい街にも学校にもなじめずにいる。ある日、だれもが自由に入れる図書館を見つけ、自分と同じ名前の詩人の本と出会った。孤独な少年が喜びと自信と勇気を見出す物語です。

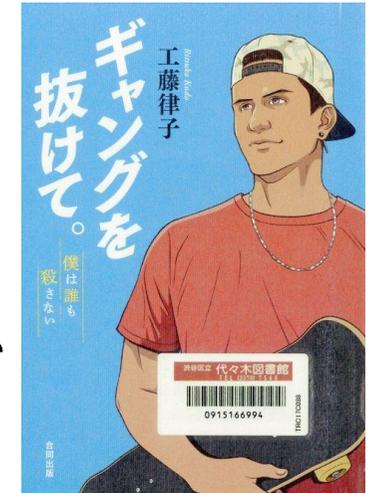
君たちはどう生きるか



よしの げんざぶろう  
吉野 源三郎  
ポプラ社

コペル君は中学2年生。おじさんとデパートの屋上から下を見下ろしていたコペル君は、あることに気が付きます。それは、コペル君がコペル君と呼ばれるきっかけとなり、また彼がどう考え、生きていくかを考えるきっかけにもなる出来事でした。

ギャングを抜けて。僕は誰も殺さない



くどう りつこ  
工藤 律子  
ごうどうしゅつぱん  
合同出版

僕は16歳で祖国ホンジュラスを離れ、一人メキシコへやってきた。僕がメキシコに来た理由…それは、ギャング団から逃れ、人殺しにならないため。僕の生まれ育った町は、凶悪なギャング団に支配され、人殺しが日常的に行われていたんだ。

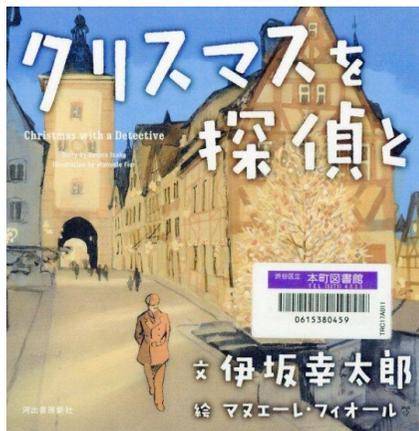
木を植えた男



ジャン・ジオノ 原作/フレデリック・バック 絵  
てらおか たかし 訳/あすなる書房

1910年頃のフランスの山岳地帯は、草木もまばらなまったくの荒地だった。その荒地でひとりの羊飼いが黙々と木を植えつづけ、ついにはこの不毛の地を緑の森によみがえらせた。

## クリスマスを探偵と



文 伊坂 幸太郎 / 絵 マヌエーレ・フィオール  
かわでしよぼうしんしゃ  
河出書房新社

12月24日の夕方、探偵のカールは、ある男の後をつけていた。男が大きな邸宅に入ってしまったので、カールは近くのベンチで休むことにした。ベンチには先客がいた。その先客の正体は…。ミステリー作家、伊坂幸太郎のすてきな短編。

## \* クラバート



プロイスラー 作 / 中村 浩三 訳  
かいせいしゃ  
偕成社

浮浪生活をしていた少年クラバートは、奇妙な夢に導かれ村はずれの水車場に行きます。そこは片目の親方が仕切る製粉場で、クラバートは11人の職人と一緒に、見習いとして働くことになります。ところが、そこは〈魔法の学校〉だったのです…。

## コンチキ号漂流記



ハイエルダール 著 / 神宮 輝夫 訳  
かいせいしゃ  
偕成社

太平洋に浮かぶポリネシアの島々。島の住人は、いかだで太平洋を渡ったというインカの伝説に残る人々の末裔ではないのか？著者は、周囲にバカにされても自分の仮説を信じ、仲間と共にいかだで海に漕ぎ出した。約70年前の実際の記録。

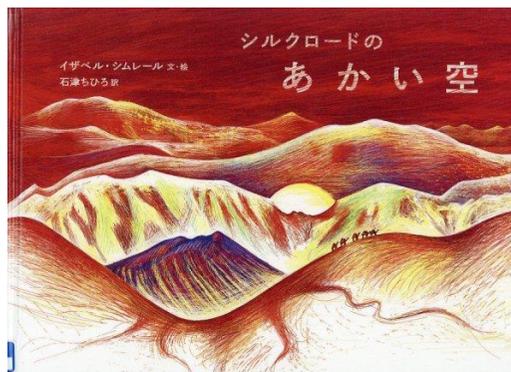
## 十一月の扉



たかどの ほうこ  
高樓 方子  
ふくいんかんしょてん  
福音館書店

ああ、こんなすてきな家に住めたらいいな。たいていはあこがれで終わってしまう願いでした。ところが父親の転勤から話はトントン拍子に進み、1週間後、中学2年の爽子は2か月の期間限定で、家族と離れて十一月荘の住人になっていました。

## シルクロードのあかい空



イザベル・シムレール 文 絵／石津 ちひろ 訳  
岩波書店

地理や歴史で学習するシルクロード。その自然や生き物、そして人々の暮らしが、美しい絵とともにとび込んでくる絵本です。絹の歴史、仏教の遺跡…。読んだ後には、日本からはるかに離れた地へ、ぜひ旅してみたいと思うことでしょう。

## ストームブレイカー

少年スパイ アレックス・シリーズ 1



アンソニー・ホロヴィッツ／竜村 風也 訳  
荒木 飛呂彦 イラストレーション／集英社

アレックスは14歳。幼い頃事故死した両親の代わりにイアン叔父に育てられている。ある夜、叔父が交通事故で亡くなったと知らせをうけたアレックスは、その死に疑問を持ち真相を探り始める。そこにはアレックスが知らなかった叔父の秘密が…。

## 戦場の秘密図書館

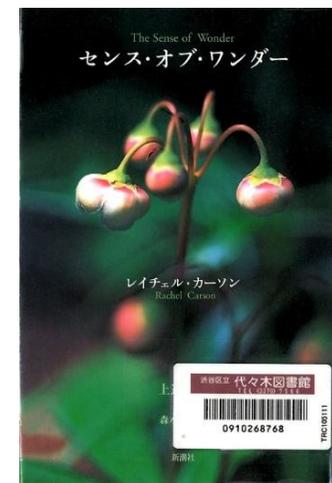
シリアに残された希望



マイク・トムソン 著／小国 綾子 編訳／文溪堂  
内戦状態にあったシリアの街・ダラヤ。軍に包囲され、食べ物や薬など何も入ってこなくなってしまったこの街に、秘密の地下図書館がオープンした。銃弾が飛び交い、命の危険にさらされながら、彼らはなぜこの秘密図書館を作ったのだろう？

## センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン／上遠 恵子 訳  
森本 二太郎 写真／新潮社



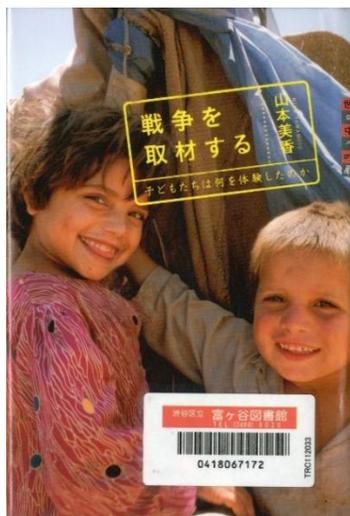
もしも私が、子どもの成長を見守る妖精に話しかける力をもっていたら、子どもたちに生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見はる感性」を授けてほしいと頼むでしょう。自然との共存を望んだレイチェル・カーソンの遺作です。

せんそう しゆざい  
戦争を取材する

こ どもたちはなにをたいけんしたのか

やまもと みか こうだんしゃ  
山本 美香 / 講談社

みなさんをご存知ですか？今も戦火の中でたくさん子どもたちが生活していることを。この本は、その戦場をくわくめい取材し、せんじょうを伝えていきます。紛争に巻き込まれた子どもたちの現状を知り、平和について考えてみましょう。



つき  
月にハミング

マイケル・モーパーゴ 作 / すぎた ななえ 訳  
しょうがくかん  
小学館

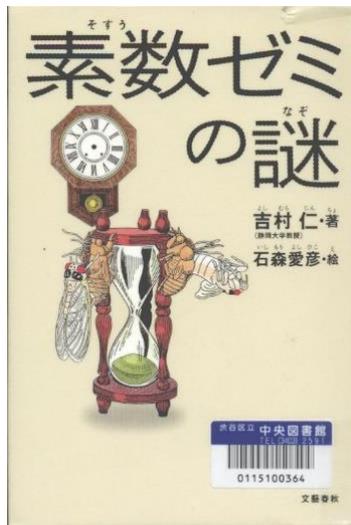
第一次世界大戦中のイギリス・シリー諸島。アルフィは近くの無人島でやせ細った女の子を見つけて家に連れて帰る。ルーシーという名前以外、何も話さない女の子だったが、次第にある噂が島民の間に流れる。ルーシーは敵国ドイツ人ではないか？



そすう なぞ  
素数ゼミの謎

よしむら じん 著 / いしもり よしひこ 絵  
ぶんげいしゆんじゅう  
文藝春秋

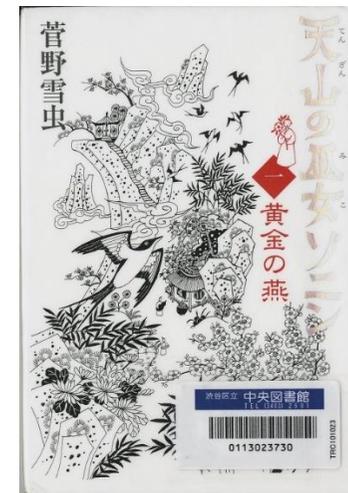
北アメリカに13年、17年ごとに大発生するセミがいます。氷河期にほとんどのセミが絶滅したのに、なぜこのセミたちは生き残ったのでしょうか？謎の答えは「13と17が素数だから」。一体、どういう意味でしょう？



てんざん みこ おうごん つばめ  
天山の巫女ソニン ① 黄金の燕

すがの ゆきむし  
菅野 雪虫  
こうだんしゃ  
講談社

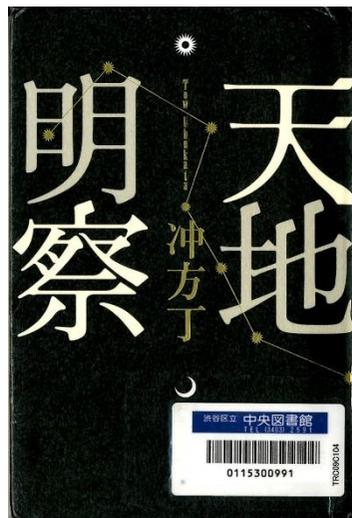
「巫女の素質がない」と里に帰されたソニン。普通の生活に戻ったのも束の間、お城の王子達との出会いが、彼女の運命を大きく変えていく。自分に何ができるの？どんな生き方をしたらいいの？おちこぼれの巫女ソニンの物語。



てんちめいさつ  
天地明察

うぶかた とう  
沖方 丁  
かどかわしょてん  
角川書店

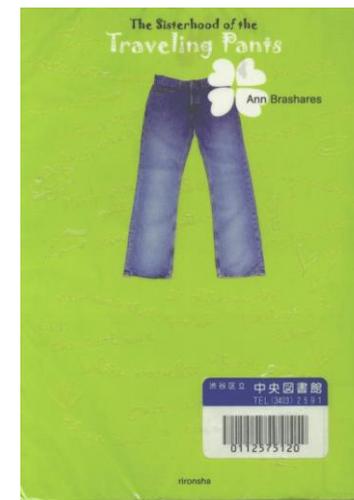
江戸幕府の囲碁指南を務める渋川春海は、日の出と共に門を出ると、奉納された算術問題を見るため渋谷の金王八幡宮に向かった。後に新しい暦作りを命じられる春海だが、暦を作るとはどういうことなのか？はたして無事に完成するのだろうか？



トラベリング・パンツ

アン・ブラッシュェアーズ / おおしま ふたえ 訳  
りろんしゃ  
理論社

女子高生の4人は生まれた時からの親友。夏を目前に、誰が履いてもステキに見えるジーンズを手に入れ、夏の間、かわりばんこに履いて過ごす事に…。4人はどんな夏を過ごすことになるの？1本のジーンズが4人の間を旅してまわる！



となり  
隣のアボリジニ ちい まち く  
小さな町に暮らす先住民

うえはし ぬほこ  
上橋 菜穂子  
ちくましょぼう  
筑摩書房

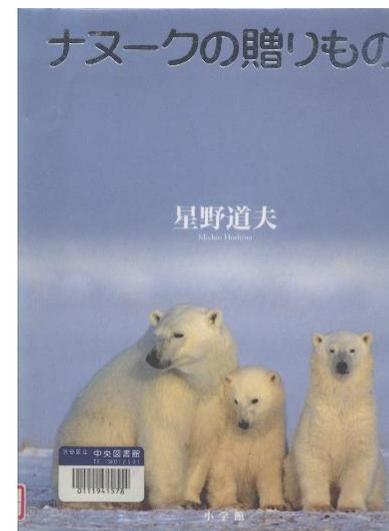
「アボリジニ」とは、オーストラリアの先住民たちを指す言葉。現在も伝統文化を保ちながら生きるアボリジニがいる一方、自分たちの言語を失い、白人社会の中に生きる人たちもいます。白人のお隣さんとして暮らすアボリジニたちの生活と歴史をたどります。



おく  
ナヌークの贈りもの

ほしの みちお  
星野 道夫  
しょうがくかん  
小学館

“むかしむかし人間は、シロクマと同じことばをしゃべっていた。”少年と、ナヌークとよばれる氷の国の王者シロクマとのかかわりから、めぐるいのちの神秘を伝える星野道夫の写真絵本。



ねんご  
20年後

オー・ヘンリー ショートストーリーセレクション



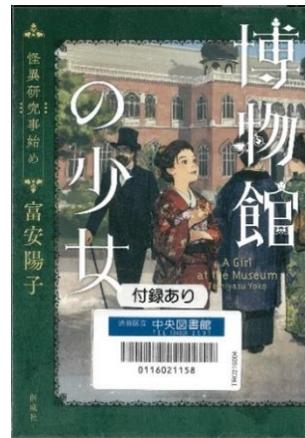
オー・ヘンリー／千葉 茂樹 訳／和田 誠 絵／理論社  
「20年後の同じ日、同じ時間にここで会おう。」その約束のために、街角で待つ男。やがてやってきた男と再会を喜び合うが、意外な結末が待っていた。短編小説の名手オー・ヘンリーによる短編集。

はくぶつかん しょうじょ  
\* 博物館の少女

かいけんきゅうことはじ  
怪異研究事始め

とみやす ようこ かいせいしゃ  
富安 陽子／偕成社

明治初期、大阪の古物商の娘で13歳のイカルは、両親を亡くし、親戚を頼って上京します。開館して間もない上野の博物館の古蔵で研究助手として働くことになりました。すると、博物館の所有物がいくつも行方不明になっていることに気づき…。



たお  
バッタを倒しにアフリカへ

まえの ウルド こうたろう  
前野 ウルド 浩太郎  
こうぶんしゃ  
光文社

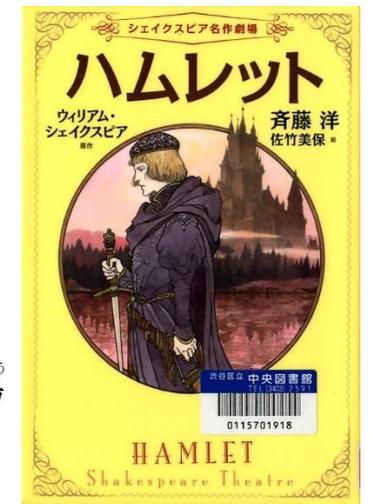
「バッタに食べられたい」という夢を叶えるため、アフリカ・モーリタニアのバッタ研究所へ赴いた若き研究者。日本との文化の違いに戸惑いながら、試行錯誤の研究の日々が続きます。そしてついに、「神の罰」とも呼ばれるバッタの大群が！！



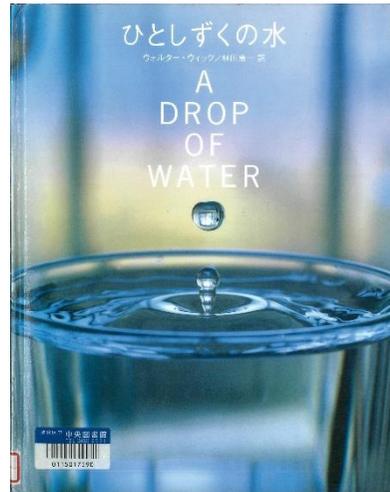
めいさくげきじょう  
ハムレット シェイクスピア名作劇場

ウィリアム・シェイクスピア 原作  
さいとう ひろし さたけ みほ 絵／あすなろ書房  
斉藤 洋／佐竹 美保 絵／あすなろ書房

王子ハムレットの前に毒殺された父王の亡霊が現れ、自分は殺されたのだと語りかける。王子は復讐を考えるが…。陰謀や策略が渦巻くシェイクスピアの名作に、心情や情景が書き加えられ、わかりやすい物語になりました。



## \* ひとしずくの水

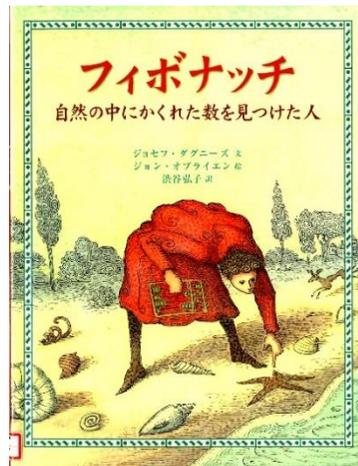


ウォルター・ウィック / 林田 康一 訳  
あすなろ書房

ひとしずくの水の決定的な瞬間を捉えた、きわめてユニークな写真科学絵本です。日常生活の1コマ1コマで繰り広げられる水の不思議さや水の“終わりのない旅”を私たちに教えてくれます。

## フィボナッチ

自然の中にかくれた数を見つけた人



ジョセフ・ダグニース 文 / ジョン・オブライエン 絵  
渋谷 弘子 訳 / さ・えら書房

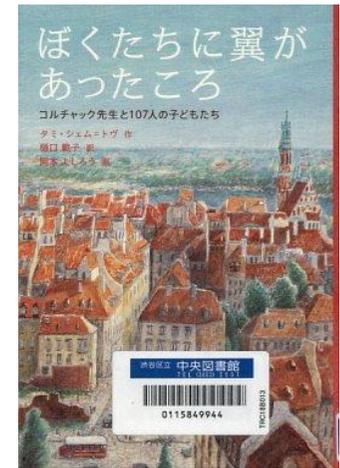
1、1、2、3、5、8、13、21…この数列の法則がわかる？花びらの数や葉っぱの生え方、うずまき…自然の中にあふれ、自然界の姿を解き明かす、まるで魔法のようなこの数列。これを見つけた人はどんな人だったの？読むと数学がすきになる！？

## ぼくたちに翼があったころ

コルチャック先生と107人の子どもたち

タミ・シェム＝トヴ 作 / 樋口 範子 訳  
岡本 よしろう 画 / 福音館書店

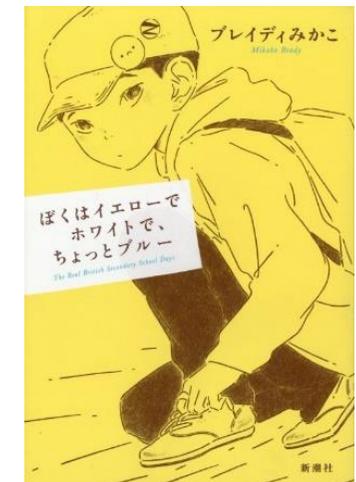
ナチスによる迫害を受けたユダヤ人。その孤児たちを受け入れるコルチャック先生の孤児院には「自由」がありました。子どもが作る新聞、子どもたち自身による裁判。成長していく子どもたちと、それを見守るコルチャック先生を温かく描きます。



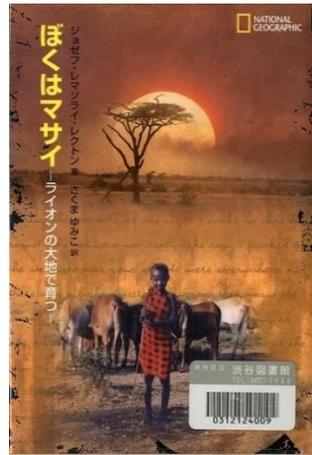
## ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー

ブレイディ みかこ / 新潮社

日本人の母とアイルランド人の父を持つ「ぼく」はイギリスで暮らしている。カトリック系の名門小学校から、公立中学校に入学したのだが、そこは差別と格差で複雑化した世界だった。「ぼく」のたくましい中学校生活を母の目線で追う。



## ぼくはマサイ ライオンの大地で育つ



ジョゼフ・レマソライ・レクトン 著／さくま ゆみこ 訳

さ・え・ら書房

伝統的な暮らしを守る遊牧民、マサイ族。そこに生まれた著者は、家族でただ一人、学校へ通います。学校で学ぶにつれ、村の人たちと違ってくる自分にとまどいながらも、彼は次々と新しい世界へ踏み出します。

## まくあがる



ひらた オリザ  
こうだんしゃ  
講談社

さおりが部長を務める高校の演劇部は、毎年地区大会で1回戦負け。でも今年「学生演劇の女王」と言われていたらしい吉岡先生が副顧問になった。強豪校にいた中西さんも転校してきたし、ひょっとして全国大会とか行けちゃうかも！？

## まんじろう ちきゅう はじ にほんじん 万次郎 地球を初めてめぐった日本人



おかざき ひでたか 作／篠崎 三朗 絵  
しん にほんしゅつぱんしゃ  
新日本出版社

と き まんじろう  
土佐の漁師だった万次郎は、船が難破してしまいアメリカ船に助けられる。鎖国している日本にアメリカ船は近寄れず、そのままアメリカに渡ることになった。アメリカに学び、再び日本に戻るようになったジョン・マンこと中浜万次郎の伝記。

## \* ミシシッピ冒険記

## ぼくらが3ドルで大金持ちになったわけ



だういで・もろしんおつと 著／中村 智子 訳  
いわさきしよてん  
岩崎書店

1904年、アメリカ・ルイジアナ州。巨大湿地帯バイユーで生活する4人の子供達は、ある日バイユーで、3ドルのコインを見つけた。4人はこのお金で、カタログ会社のピストルを買おうとするが…。遠く離れたシカゴへの大冒険が始まる！

みなみ しま  
南の島のティオ



いけざわ なつき  
池澤 夏樹  
ぶんげいしゅんじゅう  
文藝春秋

ティオの住む島ではときどき不思議なことが起こる！もらった人が必ずその場所を訪れる絵葉書を作る人、神様に挨拶をせずに工事をしたために起きた事件。この本を読むと、なぜかこの島に行ってみたくなる。本を読んでティオに会いに行ってみよう。

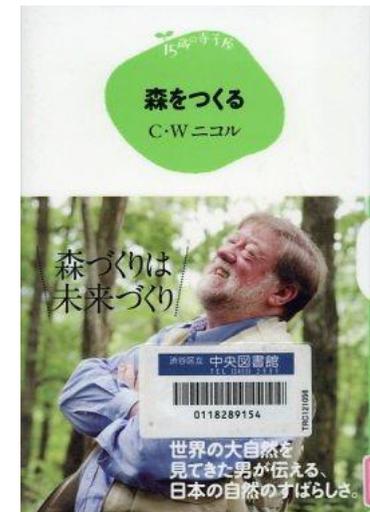
\* ミライの授業



たきもと てつふみ  
瀧本 哲史  
こうだんしゃ  
講談社

14歳のきみたちに、知ってほしいことがあります。それは、きみたちには未来がつけれるということ。未来をつくるためには、過去を知ることが必要です。これから取り上げる20人の人物の人生から、未来を学ぼう。未来のための特別講義の始まりです。

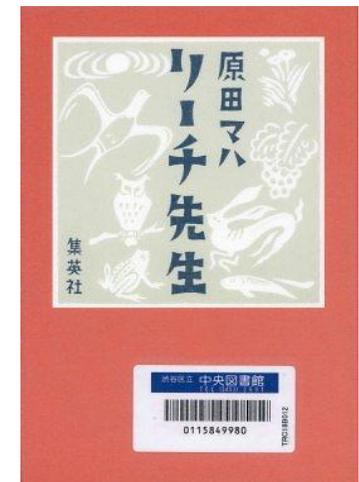
もり  
森をつくる



C・W ニコル  
こうだんしゃ  
講談社

14歳のとき、ぼくはとてつもなく強い日本人柔道家に会い、日本行きを決意した。その日本で原生林の残る自然に感動し、すっかり日本の森林の虜に。しかし当時は森林がどんどん破壊されていた。怒りと悲しみにくれたぼくは、ある行動に出た。

せんせい  
リーチ先生



ほらだ まは  
原田 マハ  
しゅうえいしゃ  
集英社

1954年春。イギリス人陶芸家バーナード・リーチが来日した。リーチの世話係を命じられた陶工見習いの高市は、リーチと交流する中で、亡き父・亀乃介が彼の助手であったことを知る。ひたむきに陶芸に向き合った人々の、時代を超えた物語。